

光合成ウミウシに学ぶ ～その生態や再生現象から～

日時 2021年8月20日（金） 午後1時半 ～ 3時半

話題提供者 遊佐陽一教授 奈良女子大学理学部生物学科水圏生態学研究室
三藤清香さん 遊佐研究室 博士後期課程2回生



みんなで脳に汗をかきましょう！

左：コノハマドリガイ
右：心臓を含む体の80%を切り落としても再生
(写真は三藤清香さん提供)

次期学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が言われ、「教科書の内容を教師が一方向的に教えるスタイル」の変容が求められています。生徒たちが主体的に学ぶためには、まずは生きものとじっくり付き合い、「なぜ？」と疑問をもつことが大切ではないでしょうか？

今回のT&Dは、そんな視点から、ウミウシに魅せられ、ウミウシとじっくり付き合う中で飛び切りの発見をしたウミウシ愛あふれる三藤さんと、その指導をされている遊佐先生に話題提供をしてもらいます。お話の中から「問いを見出し」みんなで考えてみたいと思います。生徒の皆さんも是非ご参加を！

※ 参加費 無料

※ 申込方法 グーグルフォームからお願いします。 QRコード→

URL: <https://forms.gle/X5Vb5CrtUMDWvdKT7>



※ 参加者には、2～3日前までにズームミーティングIDとパスコードをお知らせします。

※ 問い合わせ先：生物教育研究所 info@tibe.sakura.ne.jp

連絡先電話番号：090-5367-9778 (中道貞子 生物教育研究所研究員)

※ 参加者へのお願い 当日の議論を活発にするため、以下のURLにある記事などを読み、「疑問に思ったこと」や「聴きたいこと」などを、できるだけ申込フォームにご記入ください。

<http://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2020news/20210309/summary.pdf>

<https://www.cell.com/action/showPdf?pii=S0960-9822%2821%2900047-6>

<https://blog.seaslug.world/archives/1681>

【註】生物教育研究所について

生物教育に関わるさまざまな活動を続けている生物教育者（主として、フルタイム勤務を終えた者）で構成されている研究機関。

研究員は、それぞれが関心のあるテーマについて研究活動や啓蒙活動を行っている。

所長：片山舒康(東京学芸大学名誉教授) HP <https://tibe.sakura.ne.jp/index.html>